



本機および各機器の電源ケーブルを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。

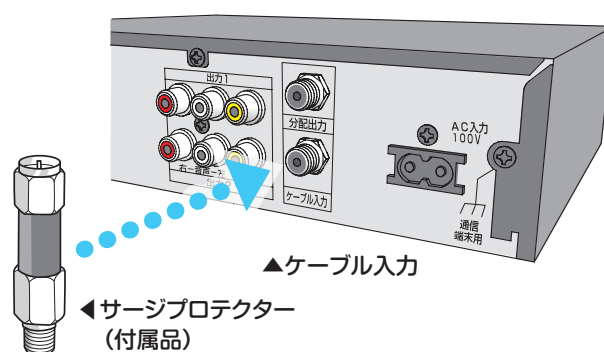
1 テレビとの接続

お使いのテレビによって右欄の

A液晶テレビ (HDMI端子あり) **B HDMI端子がないテレビ**
いずれかを参照してください。

1 サージプロテクター取り付け (雷による機械故障を軽減させるための部品)

付属のサージプロテクターをデジタルチューナーのケーブル入力へ取り付けてください。



2 同軸ケーブルの接続 (図の赤色部)

壁からの同軸ケーブルは、①で取り付けたサージプロテクターに接続してください。
別の同軸ケーブルで、チューナーのケーブル出力とテレビのUHF/VHFアンテナ入力端子を接続してください。



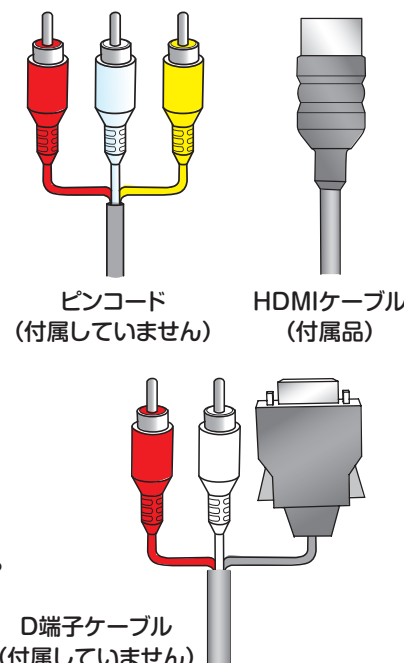
3 映像音声ケーブルの接続

接続するテレビに合った方法で、チューナーとテレビを接続してください。

Aの場合はHDMIケーブル接続

Bの場合はピンコード接続またはD端子ケーブル接続

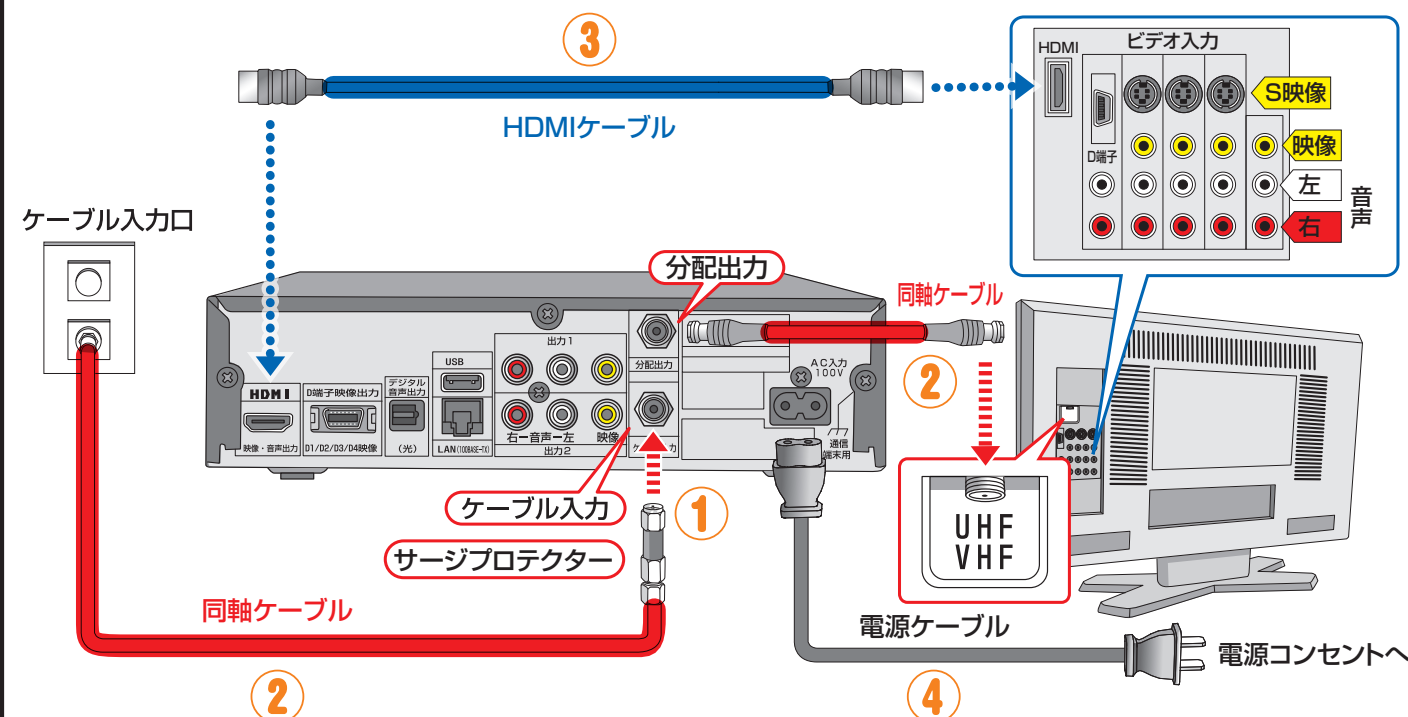
※ピンコード、D端子ケーブルは付属品ではありません。
必要な場合はお客様にてご用意ください。



4 電源への接続

すべての接続が終わりましたら、
チューナーとテレビの電源ケーブルを電源コンセントに接続してください。

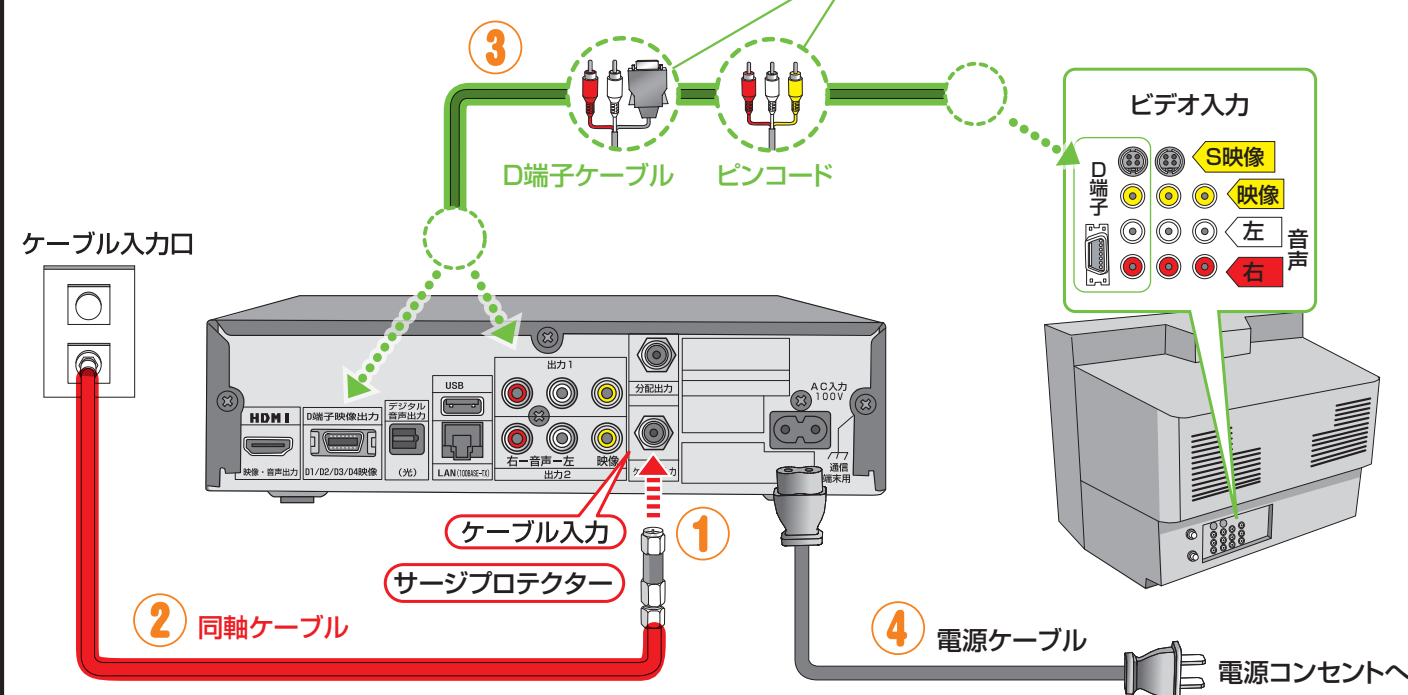
A液晶テレビ (HDMI端子あり)



B HDMI端子がないテレビ

いずれかの方法で、チューナーとテレビを接続してください。

D端子があればD端子ケーブル接続
D端子がなければピンコード接続



2 各種設定

本機はUCVにて受信の初期設定を行ってあります。
下記の項目はお客様により取扱い説明書に従い設定を行ってください。

1 カードの挿入

チューナー本体正面右側のフタを開けて、ICカード挿入口にC-CASカード（グレー）とB-CASカード（オレンジ）を挿入してください。〈図1:取扱説明書P48〉



- 絵柄表示を上にして、矢印の向きに挿入してください。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

2 テレビに合わせたリモコンのメーカー設定

チューナーのリモコンで、テレビの基本操作（電源、入力切替、選局、音量調節）が可能になります。〈取扱説明書P57〉

① テレビメーカーを設定する

テレビ電源

ボタンを押したまま、右表より、テレビのメーカーに対応するボタンを選び、順番に押す。
(工場出荷時はパナソニック(新1)に設定)

② テレビの基本操作（電源・音量調節など）ができることを確認する

テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す
パナソニック(新1)	1 あ と 1 あ	三菱(1)	5 な と 1 あ
パナソニック(新2)	1 あ と 2 か	三菱(2)	5 な と 2 か
パナソニック(旧)	1 あ と 3 さ	三菱(3)	5 な と 3 さ
パナソニック(新3)	1 あ と 4 た	三菱(4)	5 な と 4 た
パナソニック(新4)	1 あ と 5 な	富士通ゼネラル(1)	5 な と 5 な
ビクター	2 か と 1 あ	富士通ゼネラル(2)	5 な と 6 は
東芝	2 か と 5 な	三洋(1)	6 は と 1 あ
日立(1)	3 さ と 1 あ	三洋(2)	6 は と 2 か
日立(2)	3 さ と 2 か	三洋(3)	6 は と 3 さ
日立(3)	3 さ と 3 さ	三洋(4)	6 は と 4 た
日立(4)	3 さ と 4 た	NEC(1)	6 は と 5 な
SONY(1)	3 さ と 5 な	NEC(2)	6 は と 6 は
SONY(2)	3 さ と 6 は	AIWA	7 ま と 1 あ
パイオニア	4 た と 1 あ	FUNAI	7 ま と 2 か
シャープ(1)	4 た と 5 な		
シャープ(2)	4 た と 6 は		
シャープ(3)	4 た と 7 ま		

※一部動作しない機種もあります。
動作しない場合はテレビに付属のリモコンをお使いください。

●必要な方は設定してください。

■画面サイズを変更する場合

初期設定は16:9になっています。4:3のテレビ（ブラウン管テレビなど）をご利用の場合は設定し直してください。〈取扱説明書P53〉

■受信地域の設定

データ放送等で地域の天気予報や関連情報が閲覧できます。〈取扱説明書P52〉

3 視聴

- デジタルチューナー（またはテレビ）のリモコンの「入力切替ボタン」を押して、デジタルチューナーの画面（裏面の①の②で接続したテレビの入力端子名の画面）に切替えてご視聴ください。
- リモコンの操作方法と各チャンネルの番号は、同封の「リモコン操作ガイド」をご覧ください。
- 長時間テレビを見ない時（夜おやすみの間など）は、テレビだけでなく、デジタルチューナーの電源も切ってください。コンセントは抜かないでください。
(この状態でデータの更新が行われます)

正しく接続しているのにテレビが映らない場合はUCVにご連絡ください。

宅内の設備が放送に対応していない可能性がありますので、UCVが調査にうかがいます（無料）。調査の結果、建物内設備の交換・工事が必要な場合はお客様のご負担にてお願いいたします。
UCVで宅内工事は行いませんが、ご希望があれば業者を紹介します。

■受信障害の原因となる宅内設備の例

- 複数の部屋にテレビがある。
配線を分配するため電波が弱くなります。電波を強める機器（ブースター）の設置が必要な場合があります。
- 放送の周波数に対応していないブースターを使っている。
ブースターの規格についてはお問合せください。
- ワンタッチ式の接続コードを使用している。
接栓型のケーブルへの変換が必要な場合があります。

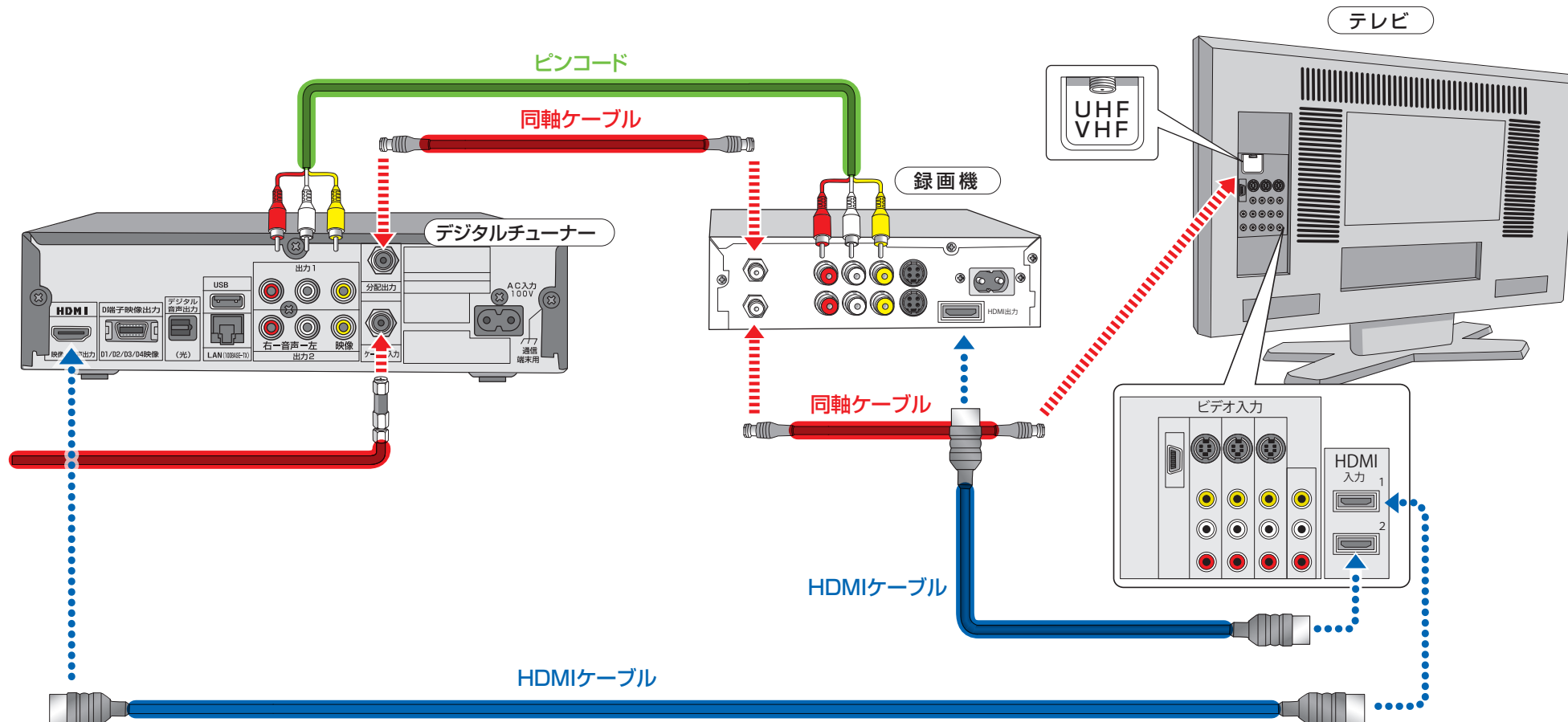
録画機の接続

チューナーの出力を録画機器に接続することで録画ができます

パナソニック製

LS300P

A 液晶テレビ (HDMI端子あり)



- ※テレビ、録画機の端子の配置は機種によって異なります。
- ※録画画質は標準画質です。(ハイビジョン画質ではありません)
- ※デジタルチューナーに付属の同軸ケーブル、HDMIケーブルは各1本です。
さらに必要な場合はお客様にてご用意ください。

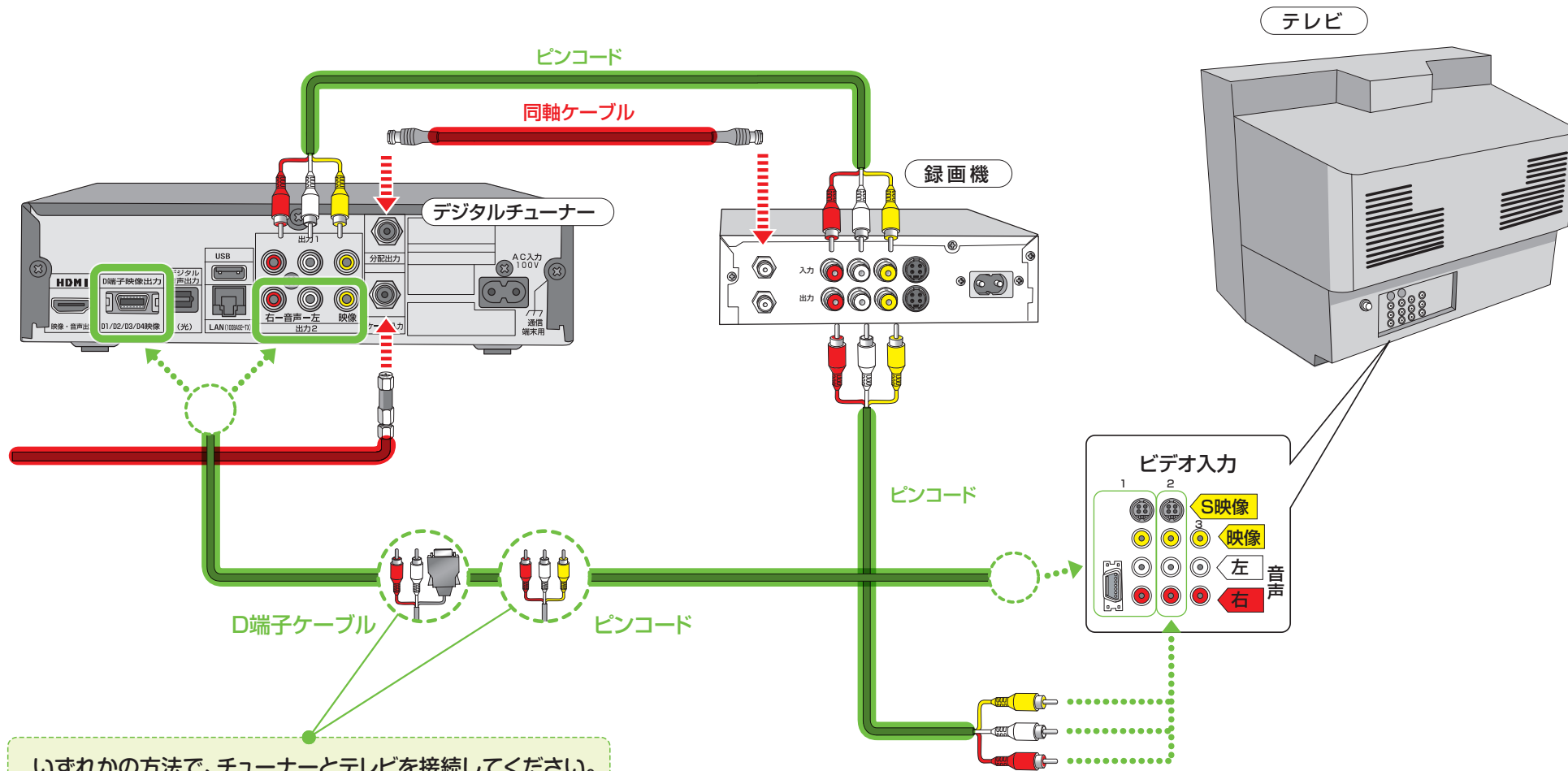
録画機の接続

チューナーの出力を録画機器に接続することで録画ができます

パナソニック製

LS300P

B HDMI端子がないテレビ



いずれかの方法で、チューナーとテレビを接続してください。

D端子があればD端子ケーブル接続
D端子がなければピンコード接続

※テレビ、録画機の端子の配置は機種によって異なります。
※録画画質は標準画質です。(ハイビジョン画質ではありません)
※ピンコード、D端子ケーブルは付属品ではありません。
必要な場合はお客様にてご用意ください。